

「大切にしたい長野市の自然」改訂版

中間報告書

平成 23 年 2 月

長野市環境審議会自然環境調査専門部会

目 次

1. 改訂の目的	1
1-1. 目的	1
1-2. 基本的な考え方	1
2. 調査等の実施方針	2
2-1. 実施方法	2
2-2. 調査対象	2
2-3. 調査実施体制	3
3. 平成22年度長野市環境審議会自然環境調査専門部会等の概要	4
4. 改訂版作成作業の概要(中間時)	6
4-1. 文献調査結果の概要(中間時)	6
4-2. 調査対象数	6
4-3. 改訂版作成作業項目とスケジュール進捗状況	7
○ 本年度現地調査結果トピック	9

資料編

- 資料1. 調査対象と調査結果(中間時)
- 資料2. 「地域」調査結果(中間時)
- 資料3. 改訂版イメージ
- 資料4. 環境学習会・交流会資料

1. 改訂の目的

1-1. 目的

市内に分布する希少な動植物や環境資源をまとめた「大切にしたい長野市の自然」は、平成15年3月に作成され、環境行政を進めていく上での基礎資料として、市民と行政の協働による自然環境の保全活動や環境教育に活用されている。

平成17年1月に合併した地区（豊野・戸隠・鬼無里・大岡地区）については、平成19年度～21年度に調査が実施されたところだが、平成22年1月の合併に伴う新市域（信州新町・中条地区）について追加調査を実施し、これらを取りまとめて、市域の拡大に対応した「大切にしたい長野市の自然」改訂版を作成するものである。

<改訂版の目的>

- かつては広く分布していた動植物の保全・増殖を図るための取組に反映させる
- 環境教育・環境学習の資料とし、市民が自然との共生について学ぶ機会に活かす
- 調査段階から地元住民の協力を得て、地元住民の自然環境保全意識の高揚を図る
- 公共事業をはじめ、各種開発計画において保全に対する配慮を求める基礎資料とする
- 環境基本計画を進めていくうえで、自然環境保全を図るための基礎資料とする
- 合併による新市域の環境資源等地域特性の理解による一体感の醸成・地域間交流の促進を図る

1-2. 基本的な考え方

改訂版作成に当たっての基本的な考え方は以下のとおりである。

- 対象種及び項目は「大切にしたい長野市の自然」を踏襲する。
- 平成17年及び平成22年の合併地区（豊野、戸隠、鬼無里、大岡、信州新町、中条地区）の種の情報追加を主体とし、他の地区については「大切にしたい長野市の自然」作成時と比べ状況が変化したもの、また、新たに発見された種等をフォローする。

2. 調査等の実施方針

2-1. 実施方法

(1) 調査及び情報の収集・整理

- ・各担当分野の委員と調査体制、調査地域等について協議し、調査計画を策定する。
- ・調査計画に基づき、地元専門家による現地調査を行い、調査状況を整理する。
- ・「地域」等については、受注者及び地元専門家による現地調査を行い、情報を整理する。
- ・地元専門家等への聞き取り調査等による情報収集を行い、整理する。
- ・長野市自然環境保全推進委員に現地調査協力をお願いし、情報を整理する。
- ・町村誌、環境省・長野県版レッドデータブック等関係機関資料、一般出版物等の掲載情報を整理する。
- ・長野県環境保全研究所植物標本庫にて標本調査を行い、情報を整理する。

(2) 調査対象種の抽出

- ・文献調査結果及び聞き取り調査結果から、「大切にしたい長野市の自然」改訂版掲載候補となる調査対象種を抽出する。

2-2. 調査対象

(1) 調査項目

項目	分類
動物	脊椎動物…哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類 無脊椎動物…昆虫類、クモ類、甲殻類、貝類、プランクトン等
植物	維管束植物
地形・地質等	地形・地質、湧水 動植物と人との歴史文化的なかかわり（聞き取り情報）
地域	地域（群集、生息・生育地）

(2) 対象種

調査内容	調査対象	備考
環境省・長野県版レッドデータブックに記載のあるもの	動物、植物	対象種について調査地域内の分布状況把握
市内で絶滅の危機に瀕していると思われるもの又は保護のため重要と思われるもの	動物、植物	上記対象種以外について調査の実施
文化財	史跡、天然記念物等	対象地について記載該当有無の検討
市民に親しまれ、貴重と思われるもの	自然環境・歴史的資源等	上記対象地以外について調査の実施
その他記載が必要と思われるもの	動植物及び環境資源等全般	必要により記載該当有無の検討

(3) 調査場所

主として信州新町、中条地区を対象とする。他の地区については、特に新たな情報が入手された場合にはこれも対象とする。

2-3. 調査実施体制

現地調査は原則として地元専門家（長野市環境審議会自然環境調査専門部会委員、表1）が行なったが、調査協力者を依頼したり、ヒアリングにより情報収集を行なった分野もある（表2）。そのほか、長野市自然環境保全推進委員の方々にも現地調査の協力をお願いした。

表1 長野市環境審議会自然環境調査専門部会委員名簿

氏名	役職	専門分野
太田 和夫	元埼玉大学非常勤講師	植物
大西 正一	戸隠を知る会会長	植物
落合 照雄	信州淡水研究所所長	陸水
亀山 章	東京農工大学名誉教授	景観生態
小林 富夫	日本野鳥の会長野支部副支部長・事務局長	動物
佐野 昌男	自然観察グループスハマ会会長	動物
竹下 欣宏	信州大学教育学部助教	地形・地質
田下 昌志	日本鱗翅学会会員	動物
長田 健	NPO 法人長野県水辺環境保全研究会理事事務局長	動物
細井 雄次郎	長野市立博物館学芸員	人文・郷土史
三石 暉弥	長野ホタルの会会長	動物
和田 清	元信州大学教授	植物

表2 調査等協力者(平成23年1月までの協力者)

分野	氏名（敬称略、五十音順）
湧水	高野憲一
植物	伊藤静夫、小林正、篠原喜運、戸谷彌生、（ヒアリング）中山湧
哺乳類、爬虫類、両生類	（ヒアリング）岸元良輔
魚類	（ヒアリング）犀川殖産漁業協同組合
鳥類	泉澄雄、小林和子、杉本淳、野口茂紀、藤田省二、吉池達
昆虫類	市村敏文、福本匡志、山崎浩希
クモ類	藤沢庸助、宮田渡

3. 平成 22 年度長野市環境審議会自然環境調査専門部会等の概要

(1) 第 1 回長野市環境審議会自然環境調査専門部会

日時：平成 22 年 5 月 19 日（水） 10:00～12:00

場所：長野市役所第一庁舎 8 階第 1 委員会室

○議事項目

- 1) 平成 21 年度第 3 回会議録について
- 2) 委員の交代及び専門分野の確認について
- 3) 「大切にしたい長野市の自然」改訂版作成の委託業者について
- 4) 「大切にしたい長野市の自然」改訂版編集方針について
- 5) 「大切にしたい長野市の自然」改訂スケジュールについて
- 6) 信州新町、中条地区の文献調査結果の中間報告について
- 7) 観察会候補地の推薦依頼について
- 8) その他

○議事内容

- ・レイアウトについて、大まかな方向性を決定した。
- ・掲載写真について、外部より購入写真は原則使用せず、できるだけ専門部会委員等が長野市内で撮影した生態写真又は長野市で採取した標本の写真を使用することとした。
- ・記述について、文章の対象は中学生が理解できる程度とする。図鑑に任せる部分は省く。
- ・冊子の体裁は、全体で 300 ページ以内に押さえ、代わりに全編カラー印刷を検討する。
- ・作業スケジュールについて、次回 7 月の部会で追加候補種を挙げ、来年 8 月までの原則 1 年間調査を実施し、来年 8 月の部会で記載候補種の決定の改訂作業スケジュールを了承した。

(2) 第 2 回長野市環境審議会自然環境調査専門部会

日時：平成 22 年 7 月 30 日（金） 10:00～12:00

場所：長野市役所第二庁舎 10 階 19 会議室

○議事項目

- 1) 平成 22 年度第 1 回専門部会の会議録について
- 2) 「大切にしたい長野市の自然」改訂版編集作業について
 - ・文献調査の追加報告について
 - ・役割分担表について
 - ・レイアウトについて
 - ・「地域」の候補及び調査地点の選考について
 - ・現在の進捗状況について
- 3) 観察会について
- 4) その他

○議事内容

- ・文献調査について、年代区分表記が文献発行の年だったり研究開始の年だったりともちまちなので、資料に注釈をつけるよう調査コンサルタントに指示した。
- ・調査範囲とする種及び地域の候補について、追加及び一部削除を行った。
- ・レイアウトについて細目を検討した。

- ・現在の調査進捗状況について報告を行い、予定どおり進捗していることが報告された。引き続き平成22年度の調査を継続する。平成23年度は調査漏れなどがあつた場合の予備調査とする。原稿は平成23年より書き始め、平成24年は原稿の校正チェックに当てる。

(3) 信州新町・中条地区現地調査（環境学習会・交流会）

日時：平成22年10月8日（金） 9：00～14：30

参加者：自然環境調査専門部会委員、自然環境保全推進委員

行程：長野市役所(出発) ⇒ 中条地区 虫倉山麓朽倉の棚田 ⇒ 道の駅 信州新町 ⇒

信州新町地区 萩野池 ⇒

自然環境調査専門部会委員

信州新町支所 ⇒ 支所にて第3回専門部会 ⇒ 長野市役所(帰着・解散)

自然環境保全推進委員のみ

信州新町支所 ⇒ 信州新町化石博物館 ⇒ 長野市役所(帰着・解散)

(4) 第3回長野市環境審議会自然環境調査専門部会

日時：平成22年10月8日（金） 14：45～15：40

場所：長野市役所信州新町支所

○議事項目

- 1)平成22年度第2回専門部会の会議録について
- 2)「大切にしたい長野市の自然」改訂版編集作業について
 - ・レイアウトについて
- 3)その他

○議事内容

- ・レイアウトについて、各種ごとの解説文は、一行23文字の8行とする。また、希少度については、色を使ったり帯を使ったりして、視覚的に分かりやすくする。
- ・長野市自然環境保全推進委員へ調査協力依頼したが、提供された資料の最終チェックは、部会委員が責任を持ってしっかり行う。

(5) 第4回長野市環境審議会自然環境調査専門部会

日時：平成23年2月16日（水） 10：00～12：00

場所：長野市役所

○議事項目

- 1)平成22年度第3回専門部会の会議録について
- 2)環境審議会中間報告について
- 3)構成について
- 4)地域について
- 5)調査対象確認
- 6)報告事項
- 7)その他

○議事内容

- ・環境審議会への中間報告案が了承された。
- ・年間の調査報告が提出された。

4. 改訂版作成作業の概要(中間時)

4-1. 文献調査結果の概要(中間時)

	調査項目	種数・箇所数・件数		
		信州新町地区	中条地区	計
1	人々の生活と関わってきた生きもの	3件	4件	7件
2	地形・地質	6箇所	5箇所	11箇所
3	湧水	5箇所	2箇所	7箇所
4	植物	480種	1172種	1278種
5-1	哺乳類	6種	7種	9種
5-2	鳥類	50種	49種	75種
5-3	爬虫類・両生類	4種	3種	5種
5-4	魚類	13種	3種	15種
5-5	昆虫類	30種	78種	91種
5-6	クモ類・甲殻類・貝類・プランクトン類	28種	—	28種
6	地域	5箇所	2箇所	7箇所
計		630	1325	1533

4-2. 調査対象数

調査項目	現行版 記載数	現在調査中のもの			
		現行版に追加		現行版から削 除	改訂版全体
		平成22年度 追加	平成21年度 までに追加		
人々の生活と関わってきた生きもの	—	—			
地形・地質	20	7	13	—	40
湧水	25	13	13	—	51
植物	57	44		8	93
哺乳類	15	1	—	—	16
鳥類	47	21	—	—	68
爬虫類・両生類	12	5		—	17
魚類	14	4		—	18
昆虫類	67	23		—	90
クモ類・甲殻類・貝類・プランクトン類	23	13		—	36
地域	27	8	8	—	43(保留11)
合計	307	173		8	472(保留11)

注1. 植物、爬虫類・両生類、魚類、昆虫類、クモ類・甲殻類・貝類・プランクトン類については、平成21年度までに調査対象種を確定できなかったため、「現行版に追加」の欄が結合されている。

注2. 上記以外に、外来種についても種を特定して調査対象とした。

4－3．改訂版作成作業項目とスケジュール進捗状況

〇「大切にしたい長野市の自然」改訂版作成作業項目とスケジュール進捗状況(平成22年4月～平成24年12月)

(平成23年2月16日現在)

作業項目等	平成22年度												平成23年度												平成24年度												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
調査	文献等調査 文献等調査データの整理 (受注者作業)	文献調査(町村誌等)						文献調査(追加・補足文献)																													
		聞き取り調査、標本調査(県環境保全研究所標本庫)												聞き取り調査(補足調査)																							
	自然環境保全推進委員等からのデータの整理 (受注者作業)													自然環境保全推進委員活動報告書データ、定期雑誌等						自然環境保全推進委員活動報告書データ、定期雑誌等																	
	現地調査 (地元専門家・受注者)	現地調査計画(各分野別)																																			
		現地調査(先行調査)						現地調査(データ入手・写真撮影)						現地調査(補足調査)																							
現地調査データ整理 (受注者作業)													データ整理(文献等調査表に追加)						データ整理(補足調査)																		
原稿作成等	借用写真等入手・手配	借用写真・写真データ入手、または借用手配																																			
	改訂版・簡易版の構成検討 原稿原案等作成 原稿チェック・修正	分野別原稿作成分担・スケジュールの検討及び調整																																			
		改訂版・簡易版の構成検討																																			
		現行版記載種原稿原案作成												現行版記載種原稿チェック・修正																							
		豊野・戸隠・鬼無里・大岡地区追加記載種等原稿原案作成												豊野・戸隠・鬼無里・大岡地区追加記載種等原稿修正																							
														豊野・戸隠・鬼無里・大岡地区区保留種における追加記載種等原稿原案作成						原稿チェック・修正																	
														信州新町・中条地区追加記載種等原稿原案作成						原稿チェック・修正																	
														全体・各分野の序文及び資料編部分等の原稿原案作成						原稿チェック・修正																	
													簡易版への原稿アレンジ(原案作成)						原稿チェック・修正																		
環境学習会	環境学習会・交流会	◎ (10/8) (自然環境保全推進委員の希望者も参加)												◎												◎											
審議会 関連	中間報告書の作成													◎												◎											
	専門部会	◎ (10/8)												◎ (10/8)												◎ (10/8)											
		◎ (10/8)												◎ (2/16)												◎											
	(主な議事項目)	・改訂方針の確認 ・文献調査中間報告 ・改訂スケジュール ・改訂版イメージの検討				・追加調査対象種の抽出 ・分野別現地調査方法の確認 ・分野別原稿作成分担の確認 ・分野別原稿作成スケジュールの確認 ・該当種記載ページの様式決定				・改訂版の構成検討・確認 ・簡易版イメージの検討 ・第1回中間報告内容の確認				・改訂版の構成検討・確認 ・簡易版の構成検討・確認 ・簡易版イメージの検討				・調査結果の中間報告 ・該当種等の概ね決定 ・改訂版の構成確定 ・簡易版の構成確定 ・原稿チェック分決定				・改訂版原稿の中間報告 ・第2回中間報告内容の確認				・調査結果の中間報告 ・改訂版原稿の概要報告 ・簡易版原稿の概要報告				・調査結果の最終報告 ・該当種等の最終確定 ・改訂版原稿の報告 ・簡易版原稿の報告 ・掲載写真の確定				・改訂版原稿の確認 ・簡易版原稿の確認 ・審議会報告内容の確認			
環境審議会報告	◎												◎												◎												
その他 関連事項	自然環境保全推進委員活動報告	自然環境保全推進委員活動調査																																			
		(4月～6月分)			(7月～9月分)			(10月～12月分)			(1月～3月分)			(4月～6月分)			(7月～9月分)			(10月～12月分)			(1月～3月分)			(4月～6月分)			(7月～9月分)								
		◎			◎			◎			◎			◎			◎			◎			◎			◎											
		春季分報告			夏季分報告			秋季分報告			冬季分報告			春季分報告			夏季分報告			秋季分報告			冬季分報告			春季分報告			夏季分報告								
		上期活動報告書						下期活動報告書						上期活動報告書						下期活動報告書						上期活動報告書											
推進委員に対する協力依頼	現地調査・写真等資料提供の協力依頼																																				

改訂版原稿完成

注. 赤線等は実施した時期を示す。

○本年度現地調査結果トピック

- ・中条地区(虫倉山)で、ヒメボタル、ハコネサンショウウオの生息が確認された。



ヒメボタル(平成22年7月24日撮影)



ハコネサンショウウオ(平成22年5月16日撮影)

- ・信州新町地区の萩野池でコウホネ、ミツガシワ、タヌキモの生育が確認された。



萩野池(平成22年10月13日撮影)



コウホネ(平成22年8月31日撮影)

- ・中条地区栃倉や信州新町牧郷地区の高萩などの棚田においてよく見られる排水溝が、生物の生息にとって好ましいことが分かった。



栃倉の棚田(平成22年8月31日撮影)



栃倉地区の水田山側に設けられた排水溝(平成22年9月14日撮影)



牧郷地区高萩で見られたマルタニシの生息する排水溝(平成22年10月13日撮影)



マルタニシ(平成22年10月13日撮影)